

公認水球コーチ3  
資格概要

2022年3月25日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本水泳連盟	
養成目的		ジュニアナショナルチームコーチ(ヘッドコーチを除く)、国民体育大会監督、都道府県内選抜チーム等の監督、日本スポーツマスターズ監督などにあたる指導者を養成する。	
役割		水泳競技における専門的な指導能力を活かし、競技者の育成にあたる。広域スポーツセンターやトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。広域スポーツセンターが実施する地域スポーツクラブの巡回指導に協力し、より高いレベルの実技指導を行う。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在満20歳以上の者で、基礎水泳指導員資格取得者、または本連盟の基準を満たし受講が認められた者	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅲ(150h)
		専門科目	専門科目(60h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅲ: 22,000円(税込) / 教師: 61,600円(税込) ※別途リファレンスブック代
		専門科目	受講料: 11,000円(税込) ※実施団体が別途定める場合がある
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
専門科目		<ul style="list-style-type: none"> <li>■講習会 集合講習32h(集合講習の一部はオンデマンドで実施) その他28h(レポート作成20h、指導実習8h)</li> <li>■検定試験 検定試験・レポート審査は(公財)日本水泳連盟競技力向上コーチ委員会が別途定める。</li> <li>■審査 受講状況(全ての講義の受講履歴) および全ての検定試験で60/100点以上を獲得し、全てのレポート課題でC評価以上を獲得し、検定員がそれらを審査・確認する。</li> <li>■免除要件 免除規定は(公財)日本水泳連盟の定めるものとする。 (公財)日本水泳連盟公認水泳コーチ3・コーチ4規定実施細則による</li> </ul>	
登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料: 10,000円	
		資格別登録料: 10,000円	
		初期登録手数料(初回登録時のみ): 3,300円	
更新登録要件	(公財)日本水泳連盟競技力向上コーチ委員会が実施するコーチ3研修会を毎年受けなければならない。		
特記事項			

公認水球コーチ3

2022年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
①種目の特性に応じた基礎理論	①	競技概説	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	②	トレーニング科学(水泳の生理学) ◆	2.00 h	0.66 h	8.00 h
		トレーニング科学(バイオメカニクス・水泳の力学) ◆	2.00 h	0.67 h	
		トレーニング科学(バイオメカニクス・各種目の力学)	2.00 h	0.67 h	
	③	心理学(水泳の心理学) ◆	2.00 h	1.00 h	6.00 h
		心理学(メンタルトレーニング) ◆	2.00 h	1.00 h	
	④	メディカルコンディショニング(栄養学) ◆	2.00 h	1.50 h	14.00 h
		メディカルコンディショニング(医学) ◆	2.00 h	1.50 h	
		メディカルコンディショニング(トレーナーの基礎知識)	2.00 h	1.50 h	
		メディカルコンディショニング(各種目における障害予防と対処法)	2.00 h	1.50 h	
小計			20.00 h	12.00 h	32.00 h
②指導理論	①	トレーニング法Ⅰ(選手育成に必要なトレーニング法の基礎)	2.00 h	2.00 h	8.00 h
		トレーニング法Ⅱ(選手育成に必要なトレーニング法の応用)	2.00 h	2.00 h	
	②	コーチング法Ⅰ(重要な指導のポイント、基本技術)	2.00 h	1.00 h	12.00 h
		コーチング法Ⅱ(重要な指導のポイント、応用技術)	2.00 h	1.00 h	
		コーチング法Ⅲ(重要な指導のポイント、基礎戦術)	2.00 h	1.00 h	
		コーチング法Ⅳ(重要な指導のポイント、応用戦術)	2.00 h	1.00 h	
小計			12.00 h	8.00 h	20.00 h
③実技指導実習	①	指導実習(トレーニング法の実践)	0.00 h	4.00 h	4.00 h
	②	指導実習(コーチング法の実践)	0.00 h	4.00 h	4.00 h
	小計			0.00 h	8.00 h
※◆印部分については、全競技種目(競泳、飛込、水球、AS、OWS)共通で講義を実施する。			32.00 h	28.00 h	60.00 h